

経営者として方向性を指し示し 実行できる環境をつくる。 それが周囲に安心感を与える

『水戸は水戸でも水戸証券』の
CMでおなじみの水戸証券株式会社。
2015年4月に同社の社長に
就任したばかりの小橋三男氏は、
2025年に迎える同社の
創業100周年に向けて、
早くもリーダーシップを発揮し始めている。
社会が求めるリーダーシップや、
日本のこれからのリーダーの
あるべき姿について、話をうかがった。



小橋 三男さん

水戸証券株式会社
代表取締役社長
2015年4月、水戸証券(株) 代表取締役社長に就任。水戸証券は創業100周年を迎える。2025年には創業150周年を迎える。2015年4月に水戸証券(株) 代表取締役社長に就任。水戸証券は創業100周年を迎える。2025年には創業150周年を迎える。

バスケットボールが強い 水戸証券との『縁』

専修大学を選んだ理由は、高校時代の先輩や先生の薦めからです。中学の時からずっとバスケットボールをやっていたので、大学に入ってからも、ほとんどがバスケットボールを中心とする学生生活でした。だから、学生時代の縁の記憶がまったくないんです(笑)。

3、4年生の時は経営でマネージャーをやっていました。その時に、OBの社会人の方々と親交を持つことができたのですが、学生同士とは全く違う交友の付き合い方を知って、本当にたくさんのことを学ばせてもらいました。

実は水戸証券に入社するきっかけもバスケットなんです。水戸証券で働いていた先輩に「人が足りないから助けてきてくれ」と呼びかけて、社内のチームに助っ人で行ったのが最初です。
マネージャーというポジションは、

2015年4月に、創業100周年を迎える水戸証券(株)の代表取締役社長に就任。水戸証券は創業100周年を迎える。2025年には創業150周年を迎える。



組織化しています。地方の大学から試合の招待を受けたり、あらかじめ遠征して大会に出たりしていた。就職活動をしている時間などあるわけがなく、あと1週間くらい大学4年の暮れです。でも、正直言うとそんな余裕はとって考えていなくて、何となくその先輩に相談したら「水戸と会ってみるか?」って。だから私は同窓会の中で一番最後の内定者だったと思います。

こんな興味が、特に大きな志もなかったし、「将来はこんなふうになりたい」といった野望もありませんでした。ただ縁があった。それだけなんです。

創業100周年に向けて 新たな経営ビジョンを策定

2015年6月から、社長に就任しました。経営トップ、リーダーとして大切にしていることは、安心感を与えることだと考えています。昔々のお客様はもちろん、若主、社員といったステークホルダーの皆さんに常に安心感を提供し、かつ公正・公平に関することを心がけています。

水戸証券は、2025年に創業100周年

を迎えます。その時を迎えるにあたって、今年4月に経営ビジョンを策定しました。具体的には経営目標を掲げるとともに、7つの基本戦略を打ち出したのですが、経営者としてそうした方向性を指し示し、きちんと実行できる環境をつくることで、信頼や安心感につながっていく。それが、今の私のやるべきことだと考えています。

当社は銀行系には異なり、ずっと自由政治の立場を堅持してきました。今の証券会社の多くは、合併に次いで合併で規模をとめていままえぬ。そんな中にもっと「水戸は水戸でも水戸証券」をずっと続けてこれているのは、何より偉大だと考えています。そしてその背景にあるのは、やはり地縁への思いです。茨城県という確たる地盤があることが、我々の心を支えであり、収益を上げるうえでも大きな強みになっています。

少し商品の幅をしますと、2009年より『ファンドクラブ』というサービスを開発しました。これは、簡単に言うとお客様の大切な資産をお預かりし、運用から管理まで一括してお任せいただくサービスです。時代のニーズに合ったものと考えているのですが、こうしたサービスは多くの人には受け入れられなかったため、やはり信頼感が大事なんです。「水戸証券」というたたら



創業100周年を記念して、創業100周年記念大会を開催。水戸証券は創業100周年を迎える。2025年には創業150周年を迎える。

金をかけてもいい」と言われぬといけませんから。

これからのリーダーに必要な 「2つの力」とは

これからのリーダーに求められるものは、私自身の考えとしては、「ITリテラシーを持つこと」ではないかと考えています。これは、当社がネット証券を目指すということではありません。やはりITというのが大きなビジネスチャンスに当たっているんです。業務の効率化、コストの削減、お客へのサービス向上——こうした中にITを積極的に取り入れていかなければ、なかなか新しい時代になってきていきます。そしてもう一つ、「倫理観」は欠かせません。リーダーとして日々の行動も含め倫理観をしっかり持つことです。専修大学では誠実さという理念があら

りますが、マネジメントの良否では、新手に反す、善化するというのが一つの大きな役割ですから、これもまた、とても大事なことです(笑)。

一生懸命仕事をするために 趣味の時間を充実させていく

証券界に身を置く一人としては、今、アベノミクスでも言われている「貯蓄から投資への転換」に挑戦していきたいと思っています。そうした未来のための道を歩いていくことができればいいなと考えています。

あとは、生活に影響を受けやすい「無理遣い」に、経営トップとしては、安定的な収益を確保できる仕組み作りをチャレンジしていきたいですね。その一つが、投資信託やファンドクラブなどの預り資産に結びついた報酬のフェイェットを高めることです。当社がファンドクラブの預り資産1,000億円を掲げているのは、そうした目的のためです。

個人向け今後のチャレンジは、地縁で続けている山登りや魚釣り、温泉旅行などの旅行をもっと楽しみながら、いろいろなところに足を伸ばすこと。国内だけでなく海外にも行きたいです。一生懸命に仕事をするためには、こうした自分を見つめるための時間をちゃんと作るなとダメです。

社内に広がる 地縁意識への思い

地縁意識の大切さは昔から言われていて、水戸の伝統的な考え方の一つで、地縁意識が強いと、地域に貢献できる、と。地縁意識が強いと、地域に貢献できる、と。地縁意識が強いと、地域に貢献できる、と。地縁意識が強いと、地域に貢献できる、と。

水戸証券の「水戸証券」は、創業100周年を迎える。2025年には創業150周年を迎える。



水戸証券
http://www.mizuho.co.jp